

協力隊通信

2021
Vol.4 8月

ホタルの季節は過ぎてしまいました。今年ご覧になりましたでしょうか？私は、向谷川と風折川に数回観察に行きました。向谷川では、6月2日と11日にゲンジボタルが各3、4匹、6月21日には20、30匹、風折川では、6月11日に4、5匹が飛んでいる場所を終点までで数か所、6月21日には40、50匹が飛んでいる場所を終点までで数か所確認しました。その年の気候にもよると思いますが、大体、5月末から飛び始め、6月末あたりがピークのようなようです。産卵に関しては、適切と思われるところを探しましたが確認できませんでした。ところで、上北山村のホタルに関し、昭和39年発行の上北山村文化叢書(4)「上北山村の民族と生物」という報告書の昆虫の項には「ヒメホタル」としか記載がありませんでした。よって、村にはゲンジボタルとヒメボタルの2種類が生息するものと思っていました。が、少なくとも、もう1種類生息することが分かりました。きっかけは、昼間、林道を歩いていた時のこと、目の

前をホタルが飛んでいくのに気づきました。ゲンジボタルが休んでいたところを邪魔されて飛び出したものと思っていました。が、何匹も、別の日にも見るので、捕まえて調べてみたところ、**オバボタル**(写真1)という種であることが分かりました。このホタルは昼光性で、弱い発光しかせず、一生を陸上で暮らすようです。ゲンジボタルやヒメボタルに比べて地味ですが、興味のある方は、来年の6月中旬あたりの昼間に林道を歩いてみてください。それほど高くない位置を、いかにもホタルっぽい昆虫が飛んでいます。個人的には今年見られなかった、ヒメボタルを見たいと思っていますので、生息場所をご存知の方は、ぜひ教えてください。



写真1. オバボタル.



写真2. シロマダラ. 腹面(左)および背面(右).

それでは、前号に引き続き、上北山村の爬虫類を紹介いたします。

シロマダラ(写真2)は、奈良県のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されています。主に、ヤモリやトカゲを食べています。夜行性のため人目に付きにくく、発見しただけで「幻のヘビ発見」と地方紙に載ることもあります。私もこれまでに屋久島

で2・3匹しか見たことがありませんでした。今回、ホタルを観察に行った時に発見したのですが、まさか村に来てこんなに早く見られるとは思っていませんでしたので興奮しました。

タカチホヘビ（写真を持っていませんのでネットで検索してみてください）は、県のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されています。夜行性で乾燥に弱いため、雨後や湿度の高い日の夜などに活動する、シロマダラよりさらに人目に付きにくい小型のヘビです。私も写真でしか見たことがありません。餌もミミズ専門食という変わった食性をしています。この辺りには、シーボルトミミズという大型のミミズが生息するため、タカチホヘビも大型化していないだろうか？など、想像するとワクワクします。分類も再検討されているようで、上北山村の個体群が別種や亜種になる可能性もあり、ぜひ、見つけたいと思っています。登山道整備や工事中に落ち葉や倒木の下から発見される可能性もあると思いますので、

見かけたらぜひ、連絡してください。

ヒバカリ（これも写真を持っていませんのでネットで検索してみてください）は、県のレッドリストでは希少種に指定されています。朝や夕方に、川や池、田んぼ、湿地などの水辺近くで活動し、カエルやオタマジャクシ、小魚、ミミズなどを食べている小型のヘビです。上北山村のような止水がなく、流れが速い溪流しかない地域には生息していないかと思いましたが、川上村では発見されているようなので、もしかしたら分布するかもしれません。茶色っぽい地色で首の横に白いラインが入るのが特徴です。見たことがあるという方がいらっしやれば、ぜひ、ご連絡ください。ちなみに、噛まれると「その日ばかりの命」という迷信から「ヒバカリ」という名前がついていますが、無毒ですので安心してください。こういう迷信を否定し、実際の正しい生態を紹介することで、ヘビをはじめとする爬虫類・両生類に対する偏見が少しでもなくな

り、身近な生き物として感じる方が増えれば嬉しいと思っています。

紙面の都合上、ヤマカガシとシマヘビは次号で紹介することとして、残りを使ってヘビの個体識別方法をご紹介します。まず、同じ個体を捕まえた時に分かるようにマーキングをするのですが、一般的にはピットタグを埋め込むか、お腹側の鱗を解剖ハサミで切って識別します（写真3）。ちよつと残酷なようですが、角質化した皮膚を切ると一緒で、ほとんど痛みはないと思います。では、写真の個体は何番か考えてみてください！
最後に。昆虫や鳥、哺乳類などと違い、爬虫類・両生類はそれほど大きな行動範囲や分散能力を持っていないため、図鑑などの地図で分布域に含まれているからと言って、上北山村にいるとは限りません。この村でまだ確認できていないヘビやカエルの貴重な記録になる可能性がりますので、見かけたらぜひ、写真や動画に撮って見せていただけると嬉しいです。

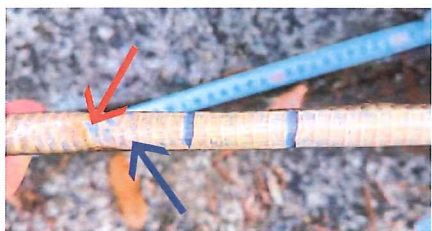


写真3. ヘビのマーキング跡。

クイズ：この個体は何番でしょう？ ヒント：赤矢印部分が総排泄腔（肛門）で、右が頭部側、青矢印を「1」とします。分かった方は、ご連絡ください（特に景品はありません）！正解は次回発表いたします。

Kamikita

No.3

Information

日月

8月も終わりを迎えようとしていますが、日中はまだ暑いのでこまめな水分補給で熱中症対策をしましょう。夏らしいことをしようと思い、家でクワガタを飼っています。西原 ふれあい会館の前でコクワガタのメス、ミヤマクワガタのメスなどを見つけ飼っています。大事に育て、長生きさせようと思います。

上北に来て5か月目に入りましたが、まだまだ自分自身ダメだなど思っている事が多いので頑張っていきたいと思っています。

7月には、村のイベントに参加させていただく機会がありました。もっと色々な行事に参加して上北山村の一員になれるようにやっていきたいと思っています。

めぐみ市

7月からめぐみ市に参加させてもらっています。めぐみ市では、上北山村の生芋こんにやくを使いサイコロ状に切ったこんにやくを出汁で炊いて「**角こん**」という商品名で販売しています。1カップ3個入りで、大人から子供まで食べやすい様にしています。角こんを村民さんや村外から来られる方に食べてもらい上北山村の特産品「**生芋こんにやく**」を知ってもらえるきっかけになればいいなと思っています。今後も、めぐみ市に参加させていただくので是非来てください。



西原 虫送り

7月10日(土)西原地区 虫送りに参加させてもらいました。村の伝統ある虫送りに参加させていただき、都会では味わえない貴重な体験をしました。松明作りから始まり、いざ本番!! 宝泉寺でお参りに参加し、笹を持たせてもらう体験などさせていただきました。独特な掛け声のもと始まり、風情ある行事に参加できたことは嬉しかったです。



あんず畑すくすく日記

No.2

あんず畑はすくすく成長しています。6月に有刺鉄線を巻いてから、新芽をシカに食べられる被害がなくなっています。なので、あんずの苗はちょっとずつではありますが、成長しています。周りの草刈りなどもしているので、あんず畑は綺麗に保っています。



- 行政便り Kamikita information
- 発行 地域おこし協力隊 土居 甚太
- 発刊 偶数月の第4水曜
- 連絡先 080-3760-6278
jin.rugby.sh9@gmail.com